



HOKKAIDO
UNIVERSITY

講義「人工知能」 第14回 AI関連ニュース

北海道大学大学院情報科学研究院
情報理工学部門 複合情報工学分野
調和系工学研究室 准教授 山下倫央

<http://harmo-lab.jp>

tomohisa@ist.hokudai.ac.jp

2024年5月23日(木)

❖ 米マイクロソフト 新サービス発表 生成AIが “会議の進行役も”

- <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240522/k10014457131000.html>

- 2024年5月22日 NHK NEWS WEB

- マイクロソフトは21日、アメリカ西部ワシントン州シアトルで開発者向けの会議を開き、この場で、生成AIの新たなサービスを発表しました。

- 新たなサービスは、「Copilot（コパイロット）」と呼ばれる生成AIがオンライン会議ソフトの「チームズ」で、会議の進行役を務め、議題の管理やメモの作成を行って業務の効率化を支援するとしています。

❖ 米エヌビディア純利益7.3倍の2.3兆円 AIブームで半導体需要

- <https://news.yahoo.co.jp/articles/b856029f12eb2fe5d43d7da94e7a01feaf65c817>

- 2024年5月23日 朝日新聞デジタル

- 米半導体大手エヌビディアが22日発表した今年2～4月期決算は、売上高が前年同期の3倍超となった。生成AI（人工知能）ブームが続くなか、同社のデータセンター向けの高性能半導体の需要の急増が続いている。

- 売上高は前年同期比3.6倍の260億ドル（約4.1兆円）、純利益は約7.3倍の149億ドル（約2.3兆円）となった。ジェンスン・フアン最高経営責任者（CEO）は同日の決算発表会で「次の産業革命が始まった。新しいタイプのデータセンターをつくるため、企業や政府がエヌビディアと連携している」と話した。

❖ EU、世界初のAI規制法が成立 26年適用、偽情報拡散防止

- <https://www.tokyo-np.co.jp/article/328494>

- 2024年5月21日

- 【ブリュッセル共同】欧州連合（EU）加盟国で構成する理事会は21日、対話型人工知能（AI）チャットGPTなど生成AIを含む世界初の包括的なAI規制法案を承認し、同法が成立した。偽情報の拡散防止が狙い。EU内で活動する世界の企業が対象で、大半の規則を2026年から適用する。
- 生成AIで作った画像の明示を義務付け、違反時は世界年間売上高の最大7%か、最大3500万ユーロ（約60億円）のいずれか高い方を制裁金として科す。

❖ もう「待ったなし」の生成AI活用プロジェクト その成功に欠かせない「3つのポイント」とは

- <https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/NXT/24/delltechnologies0412/>
- 日経BP, デル・テクノロジーズ株式会社
- 世界を一変させるほどのインパクトをもたらしつつある生成AIの登場。これを「新たな産業革命の始まり」と指摘する有識者も少なくない。生成AI活用の本格的なプロジェクトも、これから急速に増えていくことになるだろう。
- それではこのようなプロジェクトを成功させるには、どのようなことが必要になるのか。ここでは「実験段階のPoC」から「より計画的・戦略的な活用」へと踏み出していく上で、重要なポイントの3つについて解説したい。